

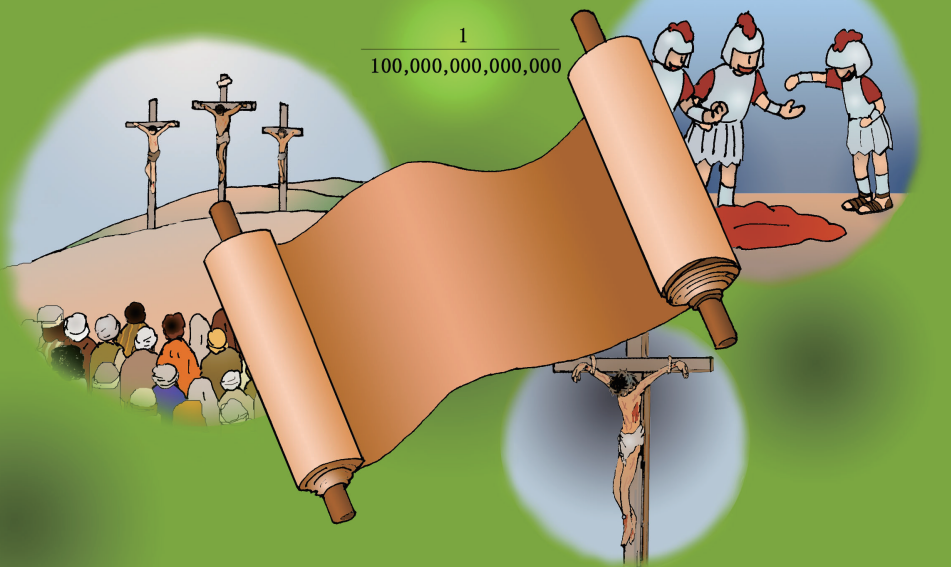
福音新聞

Good News
NO.42



発行：浜松恵みキリスト教会 ホームページ：<https://www.tsukuno.com/hamamatsu/>

『わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされて
いない事を昔から告げ、「わたしのはかり」とは成就し、
わたしの望む事をすべて成し遂げる。』と云う。』(聖書)



キリストについての預言の成就

聖書の書簡の中のヨハネの福音書に、イ
エス・キリストが十字架に架けられた場
面が記されていて、近くにいたローマ兵達が
キリストに行なった様子が出てきます。彼
らが行なった行為が予め、以前書かれた聖
書の書簡の中に預言されていたので、『聖
書(のことば)が成就するためであった』と
ヨハネの福音書の中に記されています。ロー
マ兵達は自分達が聖書の預言を成就させ
る行為を行なっているとは全く想像もつか
なかつたことでしょう。

『「彼らはわたしの着物を分け合い、わた
しの下着のためにくじを引いた」』(詩篇
22篇18節…紀元前千年頃書かれた)

『「彼の骨は一つも砕かれぬ」』(詩篇34
篇20節、民数記9章12節…紀元前3千4
百年頃書かれた)

『「彼らは自分たちが突き刺した方を見
る」』(ゼカリヤ12章10節…紀元前5百年
頃書かれた)

それらはキリストが誕生される約5百
千4百年前に預言されたものです。キリス
トについての預言は他にも数多くあり、
350近くあると言われています。そして
その全ての預言が成就していて、外れたも
のがありません。

神のことばによる預言

かつて、アメリカ人のピーター・ストナー教授（1888〜1980）がキリストについての預言を検証しました。彼はバサデナ・シティー大学の数学、天文学科委員長や、ウエストモント大学、科学科の委員長を務めた教授でした。彼はその検証の結果に基づいて、キリストの預言の中の一握りでも一個人に成就することは統計上至難の業だと結論付けています。1944年のストナー教授による著書「科学は語る」の中で調査結果を発表し、このように述べました。

「科学は聖書の預言が正確であることを立証している。キリストの預言の中の八つが一個人に成就する確率は10の17乗（10の後に0が17追加する）分の1である。」これは5百円硬貨大の大きさのものを日本の全ての土地に1メートルぐらい積み上げて、その中の一枚に印をつけて1回で引き当てる確率に等しいのです。ストナー教授の研究を確認し

た米国学協会は、教授が提示している科学的情報は一般的に正確で信頼性があるという判断を下しています。つまり、キリストについての預言は偶然に成就することは有り得ず、これはあらかじめ語られたことを成就させられた御方によるものであることが分かります。その御方とは、人を用いて預言を書かせられた真の神のことばです。

『なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。』（ペテロの手紙第二一章21節）

人間の罪についての預言

神は聖書を通して、イエス・キリストは神の御子であられ、全人類の救い主であられることを示しておられます。その証拠として数多くの預言を示されました。では何故、人間には救い主が必要なのでしょう？それは全ての人が義なる神の御前において、さばかれなければならない

らない罪人であるからです。

『というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。』（ローマ人への手紙一章18節）、『義人はいない。ひとりもない。』、『すべての人は、罪を犯したので、神からの榮譽を受けることができず』（ローマ人への手紙三章）

人間は、真の神のご存在を認めることが出来るにもかかわらず、無視し、軽んじてしまっていて、神に対する罪を犯しています。神は天と地、あらゆる生き物、そして人間を創造された御方です。それらの仕組みの素晴らしさを知るなら、誰もが容易に分かることではないでしょうか？また人間は、たとえ誰の目にも触れない心の中で罪を犯したとしても、義なる神のさばきがあることを意識して恐れを抱くのではないのでしょうか？確かに神は全ての罪をさばかれます。そして人間は死後、永遠に続く火の池に投げ込まれ、終わることの無い苦しみを受け続けなければならないのです。人間

がどんなに努力しても、そこから自分を救い出すことは出来ません。しかし神は義なる御方であられますが、愛なる御方でもあります。そのため、神は私達罪人に救い主をこの世に遣わしてくださいのです。

救いとさばきについての預言

『まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、【主】は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。』（イザヤ書53章4〜6節）この預言は紀元前7百年頃に書かれたものです。ここに出てくる『彼』とは、イエス・キリストのことです。キリス

トは神の御子であられるのに、人となってこの世に現れてくださいました。それは『私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれ』るためでした。つまり、キリストは私達の罪を赦すために十字架に架かられ、罪のためさばきをその身に負われ、死んでくださったのです。しかしキリストは死後三日目に、葬られた墓の中より復活され、ご自身が救い主であられることを示してくださいました。40日間、キリストは弟子達の前に何度も御姿を現され、天に行かれました。誰でもイエス・キリストを救い主として信じ受け入れるなら、さばきに遭うことなく、永遠の天の御国に行ける方となるのです。弟子達はキリストが天に行かれて後、命を懸けてキリストの救いについて伝道し始めました。その結果、弟子達の多くは殉教の死を遂げましたが、多くの数え切れない人々がキリストを救い主として信じ、彼らも命を懸けて伝道しました。それ程の確かな事実

がなければ、誰もその様な大胆なことは出来ないはずで。そしてクリスチャン達は、聖書の預言や復活をもってイエス・キリストが神の御子、救い主であられることを確信していたからというだけでなく、聖書の預言の中に記されている、罪人に対するさばきも必ず成就すると知っているからこそ、伝えることを切に願っているのです。聖書には『人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている』（ヘブル人への手紙9章27節）、『いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。』（ヨハネの黙示録20章15節）と書かれています。どうか、この預言の成就をご自身の身をもって味わうことなく、キリストを信じて救われ、永遠の天の御国に行ける方となってください。さるようにお勧めいたします。



☆ 特別伝道集会のお知らせ ☆

1/29

PM7時30分

金

PM2時00分
PM7時30分

土

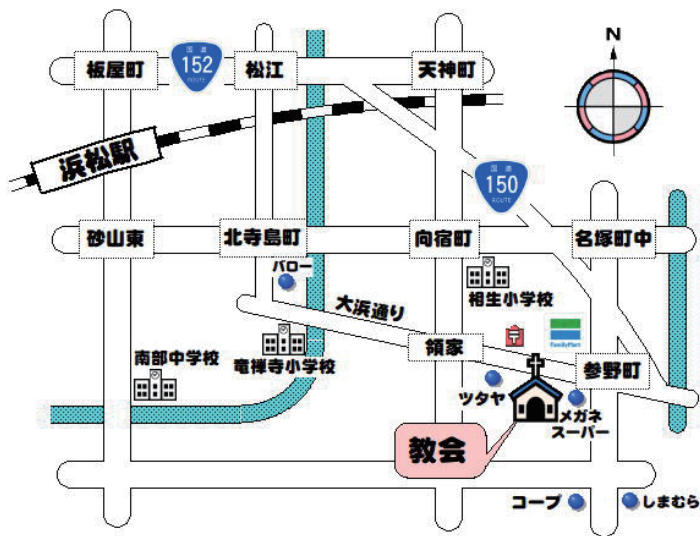
1/30

1/31

AM10時30分
PM 2時00分

日

講師：鹿島 聡 師（犬山恵みキリスト教会副牧師）



各回託児を
用意しています。
お子様がおられる
方も遠慮なくお越し
ください。
参加費などは一切
ありません。



浜松駅より遠州浜行、
または遠州浜温泉行バスで
「領家郵便局」まで約6分

定例集会のご案内

日曜日 こども礼拝 AM 9:30
一般礼拝 AM 10:30
聖書学び会 PM 1:30

水曜日 聖書学び会 PM 7:30
木曜日 婦人会 AM 10:30
土曜日 中高生会 PM 2:00
聖書学び会 PM 7:30



教会ホームページ
はこちらからどうぞ

浜松恵みキリスト教会

牧師 畑川 洋一郎
副牧師 神原 康博

〒430-0852 浜松市中区領家3丁目22-2 TEL (053) 548-4812

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、統一協会（原理研）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。